

報道関係各位		発信年月日	令和8年9月4日	送付枚数 (本紙含む)	6枚
担当部課名		担当課長名	担当者職氏名	連絡先電話番号	
企画部企画課 (PPP/PFI 推進室)		課長 河田 圭司	係長 増本 順之	(0836) 82-1130	
件名	「山陽小野田市LABVプロジェクト」・(内閣府) 第2回「PPP/PFI 事業優良事例表彰」の表彰式に出席しました				
内 容					
「山陽小野田市LABVプロジェクト」の取組が、内閣府民間資金等活用事業推進室が主催する「第2回 PPP/PFI 事業優良事例表彰」(人口20万人未満の地方公共団体で事業化された事例部門)において、最高位の大員賞を受賞しました。 令和8年9月3日(木曜日)に都内で表彰式が開催され、本市から藤田 剛二(ふじた ごうじ)市長と、山陽小野田LABVプロジェクト合同会社の代表社員である株式会社合人社計画研究所の山本 計至(やまもと かずゆき)職務執行者ほか関係者が出席しましたのでお知らせします。 記 1. PPP/PFI 事業優良事例表彰について 内閣府が創設した PPP/PFI 推進アクションプランに基づく表彰制度であり、地方公共団体や民間事業者による PPP/PFI 活用の機運醸成、活用地域・対象分野の拡大および民間事業者の創意工夫の最大化を図ることを目的とするもの。 2. 表彰部門・受賞者 (人口20万人未満の地方公共団体で事業化された事例部門) 【大員賞】山陽小野田LABVプロジェクト合同会社 3. 表彰式の概要及び受賞者コメント 別添資料にてご確認ください。 ※写真データが必要な場合は企画課までご連絡ください。 4. その他 表彰に関する詳細は、以下ホームページをご覧ください。 内閣府 民間資金等活用事業推進室 > 「PPP/PFI 事業優良事例表彰」 (https://www8.cao.go.jp/pfi/hyosho/yuryojirei_02_index.html)					

【取組概要】

No.	2
部門名	人口 20 万人未満の地方公共団体で事業化された事例部門（部門B）
事業名	山陽小野田市 LABV プロジェクト
地方公共団体等名	山口県山陽小野田市
民間事業者名	山陽小野田 LABV プロジェクト合同会社
（参画事業者）	[事業パートナー（出資者）] 合人社計画研究所、前田建設工業、大旗連合建築設計、富士商グループホールディングス、長沢建設、エヌエステクノ [プロジェクト関係者（出資者）] 山陽小野田市、山口銀行、小野田商工会議所
事業方式	LABV 方式
事業分野	官民連携による都市再開発・複合施設
事業期間	令和 5 年 1 月～令和 41 年 3 月
概要	山陽小野田市が、商工センター跡地等複数の公有地を現物出資し、官民共同の事業体（合同会社）を組成して、複合施設の整備等を行う LABV 方式の先進的な事例である。 主な評価の視点は以下のとおり。 ・ LABV 方式の事業スキームを全国で初めて採用し、事業を行ったことで、新たな PPP/PFI 事業の在り方を切り開いたこと ・ 全国における共通の課題である遊休公有地の利活用について取り組んだことに加え、複数の公有地を事業対象としていることから、他の自治体等に横展開可能な汎用性があること ・ 複数の公有地を段階的に開発し、面的なエリアマネジメントを図ることで、段階的で長期的な事業計画を展開させていること
地方公共団体連絡先	山陽小野田市 企画部企画課 PPP／PFI 推進室 (TEL) 0836-82-1130



A スクエア（東側外観）



A スクエア（南側外観）

山陽小野田市 LABV プロジェクト

内閣府主催第2回「PPP/PFI 事業優良事例表彰」※において最高位となる大臣賞受賞
(※「人口 20 万人未満の地方公共団体で事業化された事例部門」)

1. PPP/PFI 事業優良事例表彰について

PPP/PFI 事業優良事例表彰は、PPP/PFI 推進アクションプランに基づき、内閣府が創設した表彰制度です。PPP/PFI 事業の中から先導的な優良事例を表彰することにより、地方公共団体や民間事業者による PPP/PFI 活用の機運醸成、活用地域・対象分野の拡大および民間事業者の創意工夫の最大化を図ることを目的としています。

【表彰概要】

項目	内容
表彰部門	①人口 20 万人以上の地方公共団体、国等で事業化された事例部門 ②人口 20 万人未満の地方公共団体で事業化された事例部門
評価項目	先導性、汎用性、継続性、有効性
表彰の種類	大臣賞（内閣府特命担当大臣表彰） 優秀賞（政策統括官賞）、特別賞（選考委員会表彰）
大臣賞	各部門 1 件を選定する最高位の賞
表彰式	2026 年 9 月 3 日（木）中央合同庁舎 8 号館 （東京都千代田区永田町 1-6-1）

2. 受賞のポイント

本プロジェクトは、主に以下の点が評価されたものと考えられます。

（主な受賞ポイント）

- ・国内初となる LABV 方式の実装
- ・複数の公有地を対象とした面的な官民連携モデルの構築
- ・行政、民間事業者、地域金融機関等による共創体制の形成
- ・公共施設再編と地域活性化の一体的な推進
- ・整備から維持管理・運営までを一体的に担う持続可能な事業スキーム
- ・地域金融機関が構想段階から事業形成、事業化や運営支援に継続的に関与する体制

3. 表彰式等

日時：令和 8 年 9 月 3 日（木） 14：00～17：00

場所：内閣府 中央合同庁舎 8 号館 講堂（東京都千代田区永田町 1 丁目 6－1）

内容：大臣挨拶、表彰状授与、写真撮影、受賞者による表彰事業発表など

＜黄川田 仁志 内閣府特命大臣 あいさつ＞

政府が一丸となり、PPP/PFI 推進に関し、迅速かつ強力に諸政策を推進している中、特に顕著な実績を有する事業を表彰する制度として、令和 6 年度に 本表彰制度を創設した。今回は第二回である。いずれの事業も先導性、汎用性、継続性、有効性において、総合的に大変優れている。今回受賞される事業が模範となり、全国津々浦々で PPP/PFI 事業が実施されることにより、インフラの老朽化や人手不足等の社会課題の解決や地域の活性化に資することを期待する。

＜鈴木 貴典 内閣府大臣官房審議官 講評＞

山陽小野田 LAVB プロジェクトは全国で初めて LABV を採用した事例。全国の地方都市の共通する課題、遊休公有地をうまく活用し、地域活性化に取り組む山陽小野田市の事例が全国各地に広まっていくことを期待する。

4. 表彰式出席者

表彰式への出席者は以下のとおりです。

【出席者】

所属	役職	氏名
山陽小野田市	市長	藤田 剛二（ふじた ごうじ）
	企画部長	和西 禎行（わにし よしゆき）
山陽小野田 LAVB プロジェクト合同会社	職務執行者	山本 計至（やまもと かずゆき）
		武藤 隼人（むとう はやと）
株式会社山口フィナンシャル グループ	執行役員 地域共創事業 本部長	村田 直輝（むらた なおき）
株式会社 YMFG ZONE プラニング	代表取締役	藏重 嘉伸（くらしげ よしのぶ）
	地域マネジメント事業部長	網田 知泰（あみた ともひろ）

5. 関係者受賞コメント

山陽小野田市長 藤田 剛二

第 2 回 PPP/PFI 事業優良事例において「大臣賞」受賞という名誉を賜り心から感謝申し上げます。また、本プロジェクトにご尽力いただいております、合人社計画研究所様はじめ山陽小野田 LAVB プロジェクト合同会社の皆様、多くの関係者の皆様にもこの場をお借りして深く感謝申し上げます

2017 年、山陽小野田市長に就任し、3 期目を迎えています。日本全体が縮小していく中、まちの持続性を担保し、まちの未来を切り開いていくには、限界を迎えている行政運営を補完する市民、民間の方々のお力が必要と考え、「協創によるまちづくり」を就任当初から市政の基本的な

考え方に据えました。LABVはその「協創によるまちづくり」を象徴する事業です。人口6万人弱の地方都市での日本初のチャレンジには、手探りでの苦労も多々ありました。しかし、「地方都市であっても、希望と熱意を持って挑戦し続ければ必ず道は拓ける」と信じて走り続けてきたこれまでの歩みが、今日こうして大臣賞という形で高く評価いただいたことに、市長としてこの上ない喜びと誇りを感じております。

全国からのLABVのご視察も100件に達しようとしています。行政では当たり前の「仕様発注」から「性能発注」への転換を図りながら、公有地を有効活用してエリアの価値を高めるLABVのしくみが、地方創生の一手法として全国的に注目を集めています。今回の表彰を通じ、LABVを選択したことは間違いではなかったと、改めて確信することができました。

リーディングプロジェクトのAスクエアは事業期間35年、そして山陽小野田市LABVプロジェクトは残り3か所の事業用地で連鎖的に続いていきます。ファーストペンギンの使命として、積極的に全国横展開に努めるとともに、関係者一同、今回の受賞を励みに引き続き事業に取り組んでいく所存です。

山陽小野田LABVプロジェクト合同会社

代表社員 株式会社合人社計画研究所 職務執行者 山本 計至

本プロジェクトは、行政、民間事業者、商工会議所、地域金融機関等の関係者が、それぞれの強みを持ち寄りながら推進してきました。私たちは、この取組が「施設をつくるPPP」から「地域を経営するPPP」への転換を示す一つのモデルになるものと考えています。今後もAスクエアを起点として、残る事業用地での連鎖的な事業展開を進めながら、持続可能な地域づくりに取り組んでまいります。



写真提供：内閣府（民間資金等活用事業推進室）

- ・山陽小野田市長 藤田 剛二

- ・山陽小野田市 企画部 部長 和西 禎行



(大臣賞_表彰状)